

中能登町復興まちづくりニュース



令和6年6月27日 発行:中能登町震災復興対策室

第1号

復興まちづくりニュースの発行にあたって

令和6年能登半島地震により、中能登町では、これまでに経験のない甚大な被害を受けました。今後、復旧・復興の推進にあたっては、町民のみなさんと行政が復旧・復興に関する方向性について一緒に考え、共通理解のもと共に歩んでいくことが重要であると考えています。

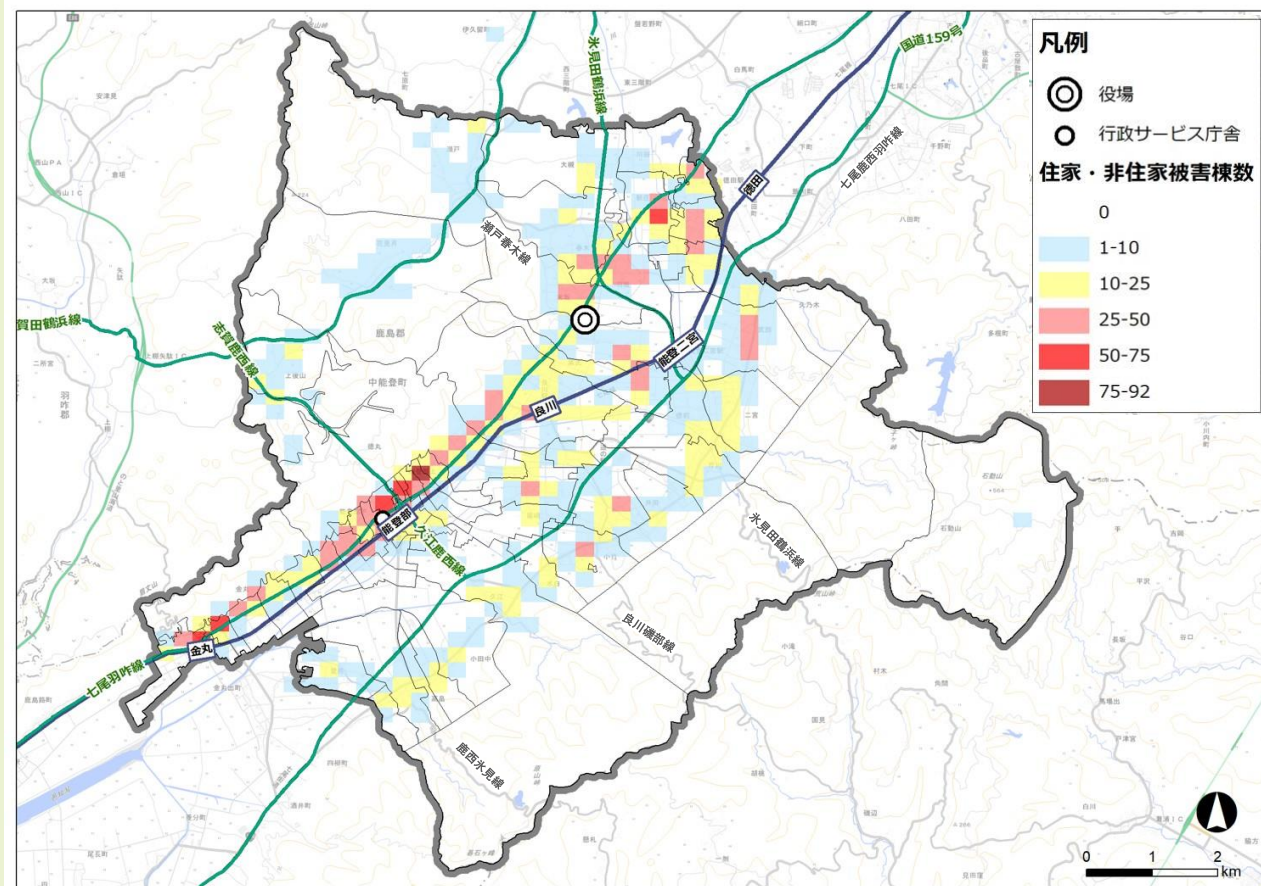
そこで、中能登町では、その指針となる「中能登町復旧・復興プラン」(以下、「プラン」という)の策定に取り組んでいます。プランの策定にあたっては、復興を遂げるためにどのような町の姿をめざすのか、町民のみなさんと一緒に話し合い、考えていくことが最重要と考え、『中能登町復興まちづくりニュース』を発行し、プラン策定の取組状況等の情報を発信してまいります。

令和6年能登半島地震 中能登町の被災状況

中能登町では6,406棟の建物被害が確認されました。
住家(人が住んでいる建物)では4,103棟、非住家(人が住んでいない建物全て)では2,303棟が被害を受けています。

▼ 中能登町内の建物被害棟数

人的・建物被害状況 (2024年6月11日時点)			
負傷者	重傷	1名	2名
	軽傷	1名	
住宅被害	全壊	50棟	4,103棟
	半壊	811棟	
	一部損壊	3,242棟	



中能登町復旧・復興プラン(案) 『なかのと版つながり復旧・復興』の柱

震災以前から課題であった人口減少に拍車^{はくしゃ}がかかりつつある現状を踏まえ、これまで紡^{つむ}いできた『地域コミュニティ』を基本に、今回の震災で見直された『地域の力』をより強固に、さらに創造^{そうぞう}的な復興を展開することで、新たな『つながり』を構築^{こうちく}し、地域発展^おを推し進めます。

そこで、中能登町では『つながり復旧・復興』を基本理念に「中能登町復旧・復興プラン」の策定に取り組んでいきます。

【基本理念】

つながり復旧・復興

『つながり復興』を創造・創出する3つの将来像

くらしの復旧・復興	なりわいの復旧・復興	まちの復旧・復興
被災者の生活再建及び住宅や宅地の再建支援 - 被災者の生活再建支援 - 仮設住宅等の提供 - 住宅・宅地再建への支援	地域産業の再建支援及び企業誘致や創業支援の推進 - 地域産業の再建 - 企業誘致・創業支援 - 雇用人材の確保	地域防災機能の見直しと強じん化 地域防災の見直し
被災者の心身ケアの充実と保育・教育環境の整備 - 被災者の心身ケア - 保育・教育環境の整備	農地や施設等の生産基盤の復旧と農業の振興 - 農業生産基盤の復旧 - 農業の振興	地域の防災力向上に向けた支援 自助・共助の推進
地域を担う人材の育成と支援 ボランティア等の人材確保	交流人口やつながり人口の拡大推進 - 観光産業の創出 - 交流人口・つながり人口の拡大	地区集会所等の復旧及び自治組織の支援 コミュニティ施設の復旧
予防防災活動や災害備蓄^{びちく}の推進 初動・受援体制^{しゅどう じゅえん}の強化、ノウハウと知見蓄積^{ちけんちくせき}による防災力強化		健康づくりや生きがいづくり支援
		道路や上下水道等の社会資本や公共施設の復旧と強じん化 - インフラの復旧・強じん化 - 公共施設の復旧・強じん化
		文化財やまちなみ等の復旧 - 文化財の復旧 - 中能登町らしさの復興・創造

みなさまのご意見をお聞かせください

6月末に「中能登町復旧・復興プラン策定に関するアンケート調査」を全世帯にお送りする予定です。その後、各地区に直接お伺いし、みなさんの声をお聞かせいただく『タウンミーティング』を予定しています。地震発生時のこと、これからのこと、中能登町が進める「復興まちづくり」に対するご意見などをお聞かせください。

《問い合わせ先》

中能登町 総務課 震災復興対策室 電話：0767-72-3934

住所：〒929-1692 石川県鹿島郡中能登町能登部下 91 部 23 番地（行政サービス庁舎）